

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 2年 3月 5日

事業所名 こども発達サポート 運動療育のかがやき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1	・自由時間にはスペースを区切って過ごしております。 ・屋内療育だけでなく屋外療育も取り入れております。	・適切ではあるがお友だちを避けることが難しいお子様もいるため時折ぶつかってしまうことありますが、コーチが危険予測をして声掛けを行っています。しっぽとりなど自由に走る運動遊びでは走るコースをサーキットで限定したり、人数を考慮しながら活動させて頂いております。
	2	職員の配置数は適切である	6	0	・職員1人に対してお子様2人までの定員を設定させて頂いております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	0		・トイレの段差は傾斜ステップを使用して対応していきます。 ・手すりの設置をなくしています。手すりを設置しないことによりぶつかる危険性なくしております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	4	2	・週1回のカンファレンスを実施し目標設定に対して振り返りを行っております。 ・業務週報やtodoリストを作成し業務内容を明確にしています。週単位で業務に対して指導員同士で共有しております。	・以前は個人の業務に対しての振り返りが少ないことがありましたが、現在は朝礼を行い業務の進行状況、アイデアなどを共有しております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	・保護者様のご意向になるべく沿えるように、職員間で内容の共有をし対策の話し合い、実践が可能になるように努めております。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	・ホームページにて公表しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6		第三者による外部評価はまだできていません。今年、未来創造企業の認定を受けるべく研修に参加しております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	・新入社員研修や月1回の会議内で研修を行っております。また外部研修にも積極的に参加し、職員全体へ内容の共有を行っております。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	・計画期間ごとに面談やアンケートを実施しニーズや課題を客観的に分析した上で、個人支援計画書の作成を行っております。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	・標準化されたアセスメントツールを使用しております。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	・職員間で積極的な意見交換を行い、新しい活動プログラムの立案を行っております。 ・現在までに立案された、運動プログラムをその日の利用者様に合わせて要素を追加しバージョンアップさせております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	・1週間を通して毎日違う職員が、かがやきオリジナルの運動プログラムの中から活動プログラムを決定しております。	・定番の運動プログラムがあり、多く取り入れております。同じメニュー名ですが使用する物品が違ったりと変化をつけながら取り組んでおります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	4	・休日は広い公園に歩いて行き交通ルールを伝える等出来ている。 ・もの作りや地域の店舗でのたこ焼き作りやラーメン作り体験などのワークショップ、クッキング等平日にはできない事を取り入れています。	・事業所の時間が長期休暇に関係なく午前と午後の2部制となっているため、特に課題をきめ細やかに設定せず、通常の個人支援計画書に基づいて支援を行っております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	・個人支援計画では運動療育による運動機能の向上(個別活動)と社会性やコミュニケーション能力の成長(集団活動)の両方の目標を設定し作成しております。	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	・朝礼を日次で実施し、支援内容の確認を中心に職員間への情報共有を行っております。		

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	5		・以前は送迎担当者への共有が出来ていなかったため、現在は終礼後、SNSを活用し職員全体への共有を行っております。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	2	・モニタリングメモを記録し、見直すことでお子様の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。	・主に担当の職員が記録を行っております。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	・6か月に1度、個人支援計画書に基づいたモニタリングを複数の職員で作成しております。またそれに基づき保護者様に支援方法、ニーズのアンケートや面談を実施させていただいております。		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	0	ガイドラインの基本活動を取り入れた支援を行っております。		
	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	・会議には、サービス管理責任者1名、もしくはプラス指導員1名が参画することが多くなっております。担当者会議では情報共有をさせて頂いております。		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	・保護者様を通してご連絡をし、情報共有や変更連絡を行っております。		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3		・現在、卒園後に園とかがやき間での情報共有はできておりません。今後は必要に応じて行っていく予定です。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	6		・かがやきのご利用者様の中で18歳の年齢に達しているお子様がないため、現在は行っておりません。状況に応じて実施していく予定です。	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	・エルム大阪さんの研修に参加させていただいています。		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	0	・昨年1月にはサッカークラブpazduroさんとのサッカー交流会を実施させていただきました。 ・課外活動時には地域のお子さまと鬼ごっこをして遊ぶなどの交流をさせて頂いております。	・地域交流については、限られた指導時間の中で実施が難しいことから、イベント(障がいのある・ないに関係なく誰でも参加できるみんなの運動会)等を開催し利用者様全員に一律に実施しております。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	6		・現在は参加出来ていません。今後も情報収集し積極的に参加させていただく予定です。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	・お帳面や送迎時に園、ご自宅、かがやきでのご様子をお話しさせていただいております。またお聞きした話の中の課題に応じて支援の方法を変更してくなどして共通理解を持たせて頂いております。		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	3	・ペアレント・トレーニングをご希望の方にはエルム大阪さんが開催している講習のご案内資料をお渡しさせていただいております。	・現在は講習の案内をお配りするご支援のみをさせて頂いております。職員に関してはペアレント・トレーニングについて外部研修、新入社員研修の機会を作っております。	
	保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	・運営規程、利用者負担等について、契約時に丁寧に説明するとともに事業所内に重要書類を掲示しています。	
		31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	・ご利用時のお帳面や支援計画作成時もしくは時期でない場合は面談のお時間をいただき、お話を伺い必要に応じて助言をさせて頂いております。	
		32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3	・ママキラ会(保護者会)を開催させていただいています。以前は外部の方に講演を開いていただきました。	・不定期ではございますが次回ママキラ会の開催は3月ごろを予定させていただいております。
		33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	2	・保護者様からご意見を頂いた場合、その場もしくは後日にお時間を頂き、サービス管理責任者または職員が直接お話をさせて頂いております。	・保護者様から頂いたご意見について、職員間では情報共有後、話し合いを行っておりますが、お子様や保護者様への周知が出来ておらず、掲載場所を作成する対応を今後行っていく予定しております。
		34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	・かがやき便りを月一回発行させていただいております。ワークショップ、送迎時間など別途、個別で配布させていただいております。 ・行った行事に関してかがやき便りやブログにて	

責任等	35	個人情報に十分注意している	5	1	・個人情報に記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。また個人情報に関して職員に研修を行い、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応で厳重に取り扱っております。	・利用者様にオンラインアルバムで活動の様子を見て頂けるサービスの中で「写真に違う利用者様の名前がうつっている」とご指摘をいただきました。現在は改善させていただいておりますが今後も厳重なお取り扱いと適切な対応を続けさせていただきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	・お子様(保護者様)の状態に応じて、視覚支援の種類をその都度、追加したり、絵で状況を説明するなど言葉以外でのアプローチもしております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	1	・クッキングでもちつきを行ったとき、近くの老人福祉施設の利用者様にもご参加いただきました。次回さらにもち作りを合同で予定させていただいております。	・以前は地域の皆様に参加していただく機会が少なかったのですが、令和元年11月にみんなの運動会を実施するなど地域の住民の皆様や近隣の小学生の方にもご参加いただける行事を開催いたしました。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	2	・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染対策マニュアル等を策定し、職員に研修を行っております。 ・防災訓練を年1回行っております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	・1年に1回消防署の方にお越しいただき実施しております。	・職員間では訓練の実施を行っていますが、利用者様がいる状況での訓練の実施がされていません。想定される最悪の状態の中で話し合い(電話係の職員や避難経路)を職員間でさせていただきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	3	・外部への研修に参加した際、虐待に関連する研修を代表者が受け職員に共有させていただいております。	・代表者からの共有だけではなく、実際に職員が研修を受ける機会を作る対応をしていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	2		課外活動時に道路での飛び出しが見られるお子さまのみ支援計画に記載していますが、現在利用中のお子様にはいらっやしません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3	・全ての利用者様について、アレルギーの有無を確認し、おやつやクッキング時に該当物質との接触が怒らないよう留意しております。	・指示書の提出をしていただけないことがございますが、医師の診断を受けて頂いたもとに保護者様から口頭及びアセスメントシートに記入していただき職員間で共有させていただいております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	・ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し職員間で共有しております。	